

2018年 ベトナムプログラム 体験記

商学部 1年
犬伏凜太郎

私は「あなたの人生を変えた出来事は何か」という質問に対して真っ先にこのベトナムプログラムを挙げると思います。海外経験がなく、日本での暮らしが当たり前だった私にとってベトナムでの生活の全てが新鮮で、私に刺激を与えてくれました。

道に溢れかえっているオートバイや賑やかなマーケットの情景は今でも目に焼き付いています。中でも一番印象に残っていることはドンラム村のホームステイです。都市部の暮らしにでさえ驚いていた私にとって、都市部から離れたこの村の暮らしはとても大きな衝撃を与えました。また、現地の学生との交流や街でのインタビューを通じて肌身で感じた異国の文化はこのようなプログラムでしか感じとることの出来ない貴重な経験になったと思います。

このプログラムのおかげで新しい価値観が芽生え、「もっと世界を知りたい！」という目標を持つことができました。それと何より、同じような価値観を持った仲間と出会えたことは私の一番の財産となりました。この経験を活かしてこれから有意義な大学生活を送っていきたいと思います。是非このプログラムに皆さんに参加してほしいです。



2018年 ベトナムプログラム 体験記

横山理紗

私は、今回のGWプログラムで初めてベトナムを訪れました。最大の収穫は、現地を肌で感じる事ができたことです。この経験はベトナムの空港に到着した時から始まりました。空港から一歩外へ出ると、自分が、息ができていくかわからなくなる程の湿気に遭遇しました。街へ出ると、たくさんのバイクがゆっくりと進んでいました。バイクが道路を埋め尽くしていたのです。道路は排気ガスのおいで充満していました。マーケットでは打って変わってエスニックな香辛料の香りがし、村に行けば、土や動物のおいがしました。これらの湿度や光景、香りやおいは日本では感じる事の出来ないものであり、比較することすらできないほど全てが違っていました。

参加者は、それぞれ初対面でしたが、ベトナムで行動を共にし、楽しいことも苦難も乗り越えるうちに短期間で結束が強固になりました。早稲田大学文系のほぼ全ての学部から参加しており、各々が持っている興味分野も違いました。お互い刺激し合うことができ、私には今までなかった視点を与えてくれました。帰国後も、お互いを高め合うことのできる最高の仲間になりました。

このプログラムで広げた視野をこれからの大学生活に生かしていきたいです。

2018年 ベトナムプログラム 体験記

高橋永遠

私は留学を希望しているが海外渡航経験も無く、渡航の機会を掴っていた。その折このプログラムの案内を見つけ、応募することとした。この授業は社会学に関連しており、私達は調査班に分かれ各々のテーマに基づき社会調査を実施した。事前授業で調査準備、現地で実地調査、事後授業で発表を行った。この調査で自分が見ている世界の狭さに気付くことが出来た。

また現地では社会調査だけでなく、ホームステイや陶器作り等、多くの体験をした。渡航前は自身の英語に不安があったが、課程中は現地学生にも助けられ、問題なく生活を送ることが出来た。全体験において、文化や慣習、考え方について自身のそれと比べ、自己のあり方の再確認や反省を強いられる機会に恵まれた。また現地の生活環境は私の日常より悪かったが、私はそれこそがこのプログラムの魅力であると考えた。なぜなら私はその環境を肌で感じることで自身の可能性を探ることが出来たからだ。そして何よりも、二か月の課程で私は何人もの尊敬できる同志を持つ事が出来た。卒業後までも私たちはお互いを高め合う仲であり続けるだろう。このプログラムで私は大きな一歩を踏み出したと思う。

現在私は、目標にしている留学先に行くため勉強に励んでいる。未来の後輩の中には、発展途上国に固定観念を持っている方も多いと思うが、逆にそうした考えを現地で検証してほしいと思う。ぜひ皆さんに大きな一歩を踏み出していただきたい。

国際教育導入プログラム（ベトナム）体験談

早稲田大学社会科学部
唐香蓮

私は国際交流豊かな大学生活にしたいと考えていたので、このプログラムはその良い第一歩になると思い、参加しました。私がこのプログラムで3つの大切なものを得ることができました。

1つ目は、日本とは全く異なる環境で生活するという経験です。食事、気候、人々の価値観が全く異なる中での8日間は非常に楽しく、過酷で貴重でした。より自分の心身について知ることができ、今後の留学について具体的に考えるきっかけになりました。

2つ目は、母国語が英語ではない人と話すスキルです。ベトナム人の英語は日本人の英語と同様になまっています。高校の教科書のCDや大学受験のリスニングテストで聞く音声とは全く異なって聞こえる英語が聞き取れるようになりました。

3つ目は、仲間です。入学したての頃、大学で友達ができるかとても不安でした。しかし、このプログラムに参加したメンバー全員ととても仲良くなりました。プログラムが終わってからも頻繁に一緒にご飯を食べたり遊んだりしています。また、メンバーのほとんどが長期留学という同じ目標を持っているため、それに向けて一緒に勉強したりもしています。早稲田のメンバーだけでなく、ベトナムで私たちをサポートしてくれた学生や先生とも非常に仲良くなり、ベトナムの習慣や価値観について詳しくなりました。